

会議結果報告書

1. 会議名 令和元年度 第1回 印西市環境審議会
2. 日時 令和元年10月7日(月) 14:00～16:20
3. 場所 印西市役所 1階 農業委員会会議室
4. 出席者：岩井、阿部、鈴木(康)、丹澤、片倉、南波、押田、小林、強口、石川
※欠席／山本
事務局：板倉(市長)、高橋(環境経済部長)、大須賀(環境保全課長)
山崎(課長補佐)、黒田、藤原(環境保全課 保全係)
土肥、高草(エヌエス環境株式会社)
5. 傍聴者 1名
6. 配布資料
 - ・令和元年度 第1回印西市環境審議会 会議次第
 - ・令和元年度 第1回印西市環境審議会 席次表
 - ・印西市環境審議会委員名簿
 - ・印西市環境審議会条例
 - ・印西市環境基本計画
 - ・印西市環境白書2019(案)
 - ・印西市環境審議会からの意見記入表

6. 内容

- (1) 開会
- (2) 委嘱書交付
⇒ 委嘱期間：令和元年10月1日から令和3年9月30日
- (3) 市長挨拶
- (4) 自己紹介
- (5) 議題

1) 会長及び副会長の選任について

会長：岩井 誠 委員

副会長：阿部 純 委員 を選出

2) 「印西市環境基本計画」について

(会 長) 議題 (1) 印西市環境基本計画について、何か意見があれば伺いたい。

現在、森林の減少、保全管理がなされていない状況の中で生物多様性についてどのように進めていくかを詳細に作り上げていく必要があると思う。

また、各種団体や行政との連携をしなければ前には進めないと感じる。

(委 員) 印西市に引っ越してきた人に話を聞くと、緑が身近であるという理由が挙げられる。しかし、実際に里山に出向く人は少ない。里山の良さを特に子ども達にもっと伝えていく必要がある。

(委 員) 子ども達が遊べるような水辺の公園というのは印西市にあるのか？自然が豊かだといっても子ども達が五感で感じられるような環境はないのではないか。また、今回の台風の影響で倒木があった場所は手入れが行き届いていない場所が多かったように感じる。

(会 長) 自分の林地を把握していない人はおそらく 7 割ほどいると思う。わかっているも手入れがなかなかできないのが実情。

(委 員) 生活環境の中では近年騒音・振動について、大型車がどんどん入るようになってきている。生活環境や交通について力を入れていく必要があると思う。

3) 「印西市環境白書 2019 (案)」について

(会 長) 印西市環境白書 2019 (案) について何か意見があれば伺いたい。

(委 員) 歴史民俗資料館の利用者数が少ない。学校の総合学習等と連携してやっていく必要があるのではないか。人が来てくれるような工夫が必要。

(委 員) 環境活動団体が減少している。活動団体を増やすのがなかなか難しい。

(会 長) 県では森林整備を行う団体には補助をだすという話もある。

(委 員) 若い人の参画を募りたい。市として活動団体を増やすという目標は難しいのでは。

(委 員) 印西市内の里山を計画的に整備する場所を決め、地権者と団体の橋渡しを行政が担う必要がある。

(委 員) 市内エコプランの進捗状況の中で、松山下公園はどこにあたるか。

(事務局) 52ページの文化施設にあたる。

(委 員) 環境審議会からの意見はどのように取り上げ、どのように反映されるのか。

(事務局) 頂いた意見をとりまとめ、関係各課に意見として通知を行う。

(委 員) 反映や取り組みは行われぬのか。

(事務局) 各担当課において委員からの意見についてどのような取り組みを行ったかの確認はしていきたいと思う。また、いただいた意見は取りまとめて、次の会議の時に審議していただき、環境白書の9ページのように掲載する。

(会 長) それぞれが書いた意見は次の審議会前に事前に送付を願いたい。

- (委員) 環境推進市民会議でも同じように環境白書について検討すると思われるが、市民会議の意見も事前に送付願いたい。
- (事務局) 開催通知と一緒に送付することは難しいが、審議会前には送付する。
- (委員) 環境審議会と環境調整委員会の違いはなにか。また、環境推進会議とはなにか。
- (事務局) 環境調整委員会は職員で構成された委員会となる。環境推進会議とは市民会議と事業者会議があり、市民会議は一般市民の公募のみで構成されたものとなる。
- (委員) 環境審議会と環境推進会議では似たようなところがあるが一本化するという考えはあるか。
- (事務局) 環境推進市民会議では環境フェスタ等に出店する等、より実践的に動いていた
だいていものになるので、審議会とは少し違うものになる。審議会ではより広い意見を踏襲する場所と考えている。
- (委員) 内容的には似たようなものになるが、市民会議では実際に市民と触れ合い環境
について啓発している。市民会議とは情報交換を行う必要がある。
- (委員) 市民会議と事業者会議は何名いるのか。
- (事務局) 市民会議は現在 6 名で構成しており、事業者会議については検討事項がないため、今現在は設置していない。

4) その他

- (事務局) 環境白書の 9 頁「環境審議会委員からの意見・提案」について、皆様からのご意見をいただきたい。環境白書の第 2 章を中心に再度ご一読いただき、ご意見を別紙に記入のうえ、10 月 23 日（水）までにメール、または FAX もしくは郵送にて提出いただく。次回は、皆様からご提出いただいた意見をまとめたいただく会議になる。なお、次回の審議会は 11 月 1 日（金）9 時 30 分からを予定している。詳細については、郵送にて通知させていただく。また、会議の 2、3 日前には審議会及び市民会議で頂いた意見を取りまとめたものを郵送させていただく。

以上

令和元年度第 1 回印西市環境審議会会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和元年 11 月 1 日

印西市環境審議会会長 岩井 誠